

教 育 行 政

第 1 節 昭和46年度福島県 教育委員会重点施策

1. 教育機会の拡充

人間尊重の立場から、すべての者の能力に即した教育を確保するため、幼稚園から高等学校までの教育機会の拡充をはかる。

- (1) 高等学校教育の拡充整備
- (2) 特殊教育の拡充
- (3) 過疎地域教育・へき地教育の振興
- (4) 幼稚園の設置促進

2. 教育活動の充実

豊かな人間性の育成をめざし、ひとりひとりの可能性を開発するため、教育活動の質的充実をはかる。

- (1) 教職員研修の拡充
- (2) 道徳教育・生徒指導の徹底
- (3) 科学技術教育・産業教育の充実
- (4) 教育内容・方法の現代化
- (5) 学校運営管理の適正化
- (6) 自主的研修の助長
- (7) 進路指導の適正化

3. 教育環境の整備充実

教育の効率を高めるために、人的物的諸条件を改善して、教育環境の整備充実をはかる。

- (1) 施設・設備の充実
- (2) 教職員組織の強化と勤務条件の改善
- (3) 学校事故防止の徹底
- (4) 教職員の福利厚生の拡充

4. 健康・体力の増進と安全教育的徹底

心身ともに健康でたくましい人間を育成するため、体育・スポーツの振興と保健・安全教育的徹底をはかる。

- (1) 体育指導者の資質の向上
- (2) 体育団体の育成
- (3) 体育施設の拡充整備
- (4) 冬季スポーツの振興
- (5) 保健・安全教育的徹底
- (6) 学校給食の普及充実

5. 社会教育の推進と文化の振興

自己啓発と豊かな市民性を高めるため、社会教育の推進と文化の振興をはかる。

- (1) 社会教育施設の整備促進

- (2) 社会教育指導体制の充実強化
- (3) 学級・講座等の刷新充実
- (4) 社会教育関係団体の育成助長
- (5) 芸術文化の振興
- (6) 文化財の保護と活用

第 2 節 教育委員会

1. 教育委員会

昭和46年10月18日の臨時教育委員会で、任期満了の佐藤広治委員長の後任に山崎忠兵衛委員が互選され、また委員長職務代理者であった山崎委員の後任には笠原美彌委員が選出された。

昭和46年度末現在の構成は次のとおりである。

職 名	氏 名	職 業	住 所	就任年月日	初任年月日
委員長	山崎 忠兵衛	醸造業	いわき市平字鍛冶町3	43.10.11	43.10.11
委員	笠原 美彌 (委員長職務代理者)		須賀川市上人垣1の2	45.10.10	45.10.10
委員	佐藤 正人		南会津郡下郷町大字中妻字家の上乙30	43.10.11	41.10.8
委員	佐藤 広治		福島市泉字仲田4-10	42.10.11	42.10.11
委員	会田宗太郎	医師	西白河郡矢吹町大字矢吹字西宅地9	46.3.11	46.3.11

2. 審 議 事 項

4月定例会(46.4.8 教育委員会室)

- 報告 1. 昭和45年度末県立学校教職員の人事異動について
2. 福島県社会教育委員会議の結果について
3. 県営いわき陸上競技場竣工記念行事について
- 議案 1号 昭和47年度使用教科用図書選定審議会委員の任命について

5月定例会(46.5.6 教育委員会室)

- 報告 1. 移動教育庁の実施について
2. 昭和46年度福島県教育委員会指定各種研究学校について
3. 昭和46年度学校教育指導委員ならびに生徒指導委員の委嘱について
4. 中学校教育課程編成委員の委嘱ならびに諮問事項について
5. 昭和46年度公立高等学校入学選抜の結果について
6. 昭和46年度福島県青少年教育指導員および婦人教育指導員の委嘱について
7. 第29回国民体育大会冬季大会スキー競技会福島県実行委員会(設立準備会)について
- 議案 1号 福島県立首学校・福島県立ろう学校及び福島県立養護学校学則の一部改正について
2号 福島県産業教育審議会委員の任免について
3号 県立学校長事務取り扱いの人事について